



# さがの土地改良

2024.1  
広報  
Vol.197

佐賀県土地改良事業団体連合会  
～水土里ネットさが～



[写真] 「SAGAよか農フォトコンテスト2023 優秀賞『ひえとい』」

## CONTENTS

年頭挨拶	1
○佐賀県土地改良事業団体連合会 会長 田島健一	
○佐賀県農林水産部 副部長 島内利昭	
○全国土地改良事業団体連合会 会長 二階俊博	
○全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子	
○全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 宮崎雅夫	
佐賀県農業農村整備事業推進大会	6
第45回全国土地改良大会 福井大会	7
土地改良区役職員研修会	7
佐賀県NN推進協議会要請活動	8
九州NN推進協議会・土地連九州協議会要請活動	8
農業農村整備の集い	8

農業農村整備事業関係予算	9
どかいれんの話題	10
○さが水土里ネット女性の会研修会、男女共同参画推進大会	
○土地改良区体制強化事業(技術実践向上)研修会	
○農村工学中堅技術研修、施設管理研修	
○インターンシップ	
佐賀県農地・水多面的機能推進協議会	12
○多面的機能支払交付金研修会	
○九州フォーラム	
未来へつなごう!ふるさとの水土里子ども絵画展2023入賞	13
○ひとこと「第5回 森川海人っフェス」	
お知らせ	14
○非補助農業基盤整備資金	○土地改良法律相談
○土地改良施設賠償保険	○連合会手帳





## 新年の御挨拶

佐賀県土地改良事業団体連合会  
会長 田島 健一

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、御家族ともども健やかで希望に満ちた新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。また、佐賀県土地改良事業団体連合会の運営につきましては、日頃から格別の御支援をいただき厚くお礼申し上げます。

本年元日に石川県能登地方を震源とする「令和6年能登半島地震」が発生し、北陸地域を中心に甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

昨年は、12月26日に「令和5年度佐賀県農業農村整備事業推進大会」を開催しました。本大会には700名を超える土地改良関係者の方々に参加を頂き厚くお礼申し上げます。この熱意を、令和7年（2025年）10月15日に、「SAGAアリーナ（メインアリーナ）」において佐賀県で初めて開催します「全国土地改良大会 佐賀大会」へつなげていく所存でございますので、改めまして御協力をお願いします。

さて、今日の農業情勢につきましては、農業者の減少や高齢化、担い手不足など、厳しい状況にありますが、大きな変革の時を迎えているとも言えます。このような中、農業政策の憲法とも言われる「食料・農業・農村基本法」の検証・見直しが進められております。

今回の検証・見直しは、食料安全保障の強化を目的として、過度な輸入依存からの脱却に向けた構造転換と、それを支える国内の供給力強化の実現を目指すものであります。

佐賀県では、令和元年度より農業所得の向上を目的として「さが園芸888運動」が展開されており、水田農業を大切にしつつ、水田の畑地化・高収益作物への転換等による園芸農業の推進など「稼げる農業」への取組が展開されております。

農業農村整備事業においても、地域が目指す農業の将来像に適うことが重要であり、農業の基盤整備を担う我々土地改良の役割は大きく、また、社会情勢の変化により、我々に求められる時代のニーズも常に変化しています。

こうした中で、先般概算決定が閣議決定されましたが、農業農村整備事業予算につきましては、令和6年度当初予算の概算額で前年度を上回る4,463億円が計上され、令和5年度補正予算と併せると総額6,240億円となる見込みであります。

改めまして、御尽力いただきました国会議員の皆様方及び農林水産省の皆様、並びにお力添えいただきました関係者の皆様方に深く感謝を申し上げます。

結びになりますが、本年も会員の皆様と一丸となって「力強い佐賀の農業・農村づくり」をめざし、邁進したいと思っておりますので、なお一層の御支援、御協力をお願い申し上げますとともに、皆様方の益々の御健勝と御活躍を祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



4年  
いさつ



## 新年の御挨拶

佐賀県 農林水産部  
副部長 島内利昭

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、日頃から農業・農村の振興に多大な御尽力をいただいておりますことに対しまして、深く感謝を申し上げます。

本年元日に発生した「令和6年能登半島地震」によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。佐賀県としても能登半島地震で被災された方々が一日でも早く落ち着いた生活を取り戻せるように、義援金や職員派遣など、被災地・被災者のニーズに応じて支援してまいります。被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

昨年12月26日に開催された「令和5年度佐賀県農業農村整備事業推進大会」では、これからの佐賀の農業農村整備の重要性について、県内関係者が共有することができ、大変意義のある大会になったのではないかと感じています。

また、本県では、今年度、「佐賀県『食』と『農』の振興計画2023」を策定しました。この計画では、農業従事者の減少・高齢化や労働力不足の進行、生産資材価格の高騰などに対応するために、新たに園芸団地の整備・拡大や多様な雇用人材確保に向けた体制の強化などの取組を進め、「磨き、稼ぎ、未来へつながるさが農業・農村」の実現を目指すものです。特に、「稼ぐ農業」の実現に向け、令和10年の園芸農業算出額を888億円に拡大することを目標とした「さが園芸888運動」や、佐賀平野の内水氾濫軽減対策として「プロジェクトIF」を積極的に進めてまいります。

一方、農業農村整備事業関係予算については、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策やTPP対策等を含む令和5年度補正予算と令和6年度当初予算と合わせて、本年度と同程度の予算が確保される見込みとなりました。

今後とも、永続的に農業・農村の振興を図るためには、時代の転換への的確な対応が求められることから、農家、土地改良区、市町等、関係される方々の意見に十分耳を傾けながら、それぞれの地域の将来を見据え、各種施策に取り組んでまいります。引き続き、皆様方のなご一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様方の益々の御発展と御多幸を祈念しまして年頭の挨拶と致します。



さが園芸888運動

チャレンジ! 元気あるふるさと共創へ





## 新年に当たって

全国土地改良事業団体連合会  
会長 二階俊博

令和6年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

本年元日に石川県能登地方を震源とする「令和6年能登半島地震」が発生し、北陸地域を中心に甚大な被害が発生しました。お亡くなりになられた方のご冥福を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当会も被災地域の日も早い復旧・復興に向けて全力で取り組んでまいりますので、関係各位におかれましてもご支援をお願いします。

昨年は、国内では新型コロナウイルス禍が一段落する一方、ロシアによるウクライナ侵略に加え、中東においても軍事衝突が起こるなど、国際的な混乱が続く年となりました。

国内においては、農業者の高齢化や減少が進み、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、資材価格と電力料金の高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような情勢の中、命を支える食料の確保は、後回しにできない国民ニーズであり、食料安全保障の強化は、国家の最重要課題とされ、食料・農業・農村基本法の見直しにおける大きなテーマとして議論されています。

我々は、食料安全保障の確立の観点からも、食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

令和6年度農業農村整備事業関係予算につきましては、全国の関係者の皆様の熱意ある要請活動の結果、政府予算案において、4,463億円を確保することができました。令和5年度補正予算を含めると昨年度を上回る6,240億円となります。

御尽力いただいた関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第五次男女共同参画基本計画や土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、残された期間は2年余りとなります。

将来の土地改良組織の体制強化・発展のために女性の参画を積極的に進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

私は、本会の会長に就任以来、「闘う土地改良」を旗印に組織一体となって闘ってまいりました。土地改良の代表として進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員が「車の両輪」となって、皆さんの声を聞き、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声を国会に届けるためにも、お二人の活動の支援をお願いいたします。

「農業農村の振興」を果たすためには、限りなく闘い続けていかなければなりません。

男女ともに一致団結して、更なる闘いを続けていこうではありませんか。

本年も皆様の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、全国の皆様が日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げます。私の新年の御挨拶といたします。





## 新年のご挨拶

全国土地改良事業団体連合会会長会議

顧問 進藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。

本年は元旦から能登半島地震が発生いたしました。お亡くなりになられた方のご冥福を心からお祈りいたしますとともにご遺族の皆様にお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。被災地域の復旧、復興に向け、私も全力を尽くしてまいります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

佐賀県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、旧年中大変お世話になりました。昨年末、財務大臣政務官を拝命いたしました。本年も現場主義、地域主義に徹し、国家の発展と農業農村の振興のため全力を尽くしてまいります。本年もよろしくお願い致します。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、国民の生活も平穏を取り戻しつつあります。一方、ロシアのウクライナへの侵略は昨年も収束せず、10月にはイスラエルとパレスチナの紛争も勃発しました。こうした状況下にあつて、エネルギー価格、小麦・とうもろこし等の穀物価格、飼料価格や肥料価格、資材価格等も概して高止まりの傾向にあり、物価上昇が国民生活を圧迫しています。

土地改良予算については、昨年11月に成立した令和5年度補正予算で1,777億円（TPP等対策：760億円、食料安全保障対策：460億円（うち重複300億円）、国土強靱化5か年加速化対策：857億円）が措置され、令和6年度当初予算政府原案の4,463億円と合わせて6,240億円となり、令和5年度予算よりも106億円上回る予算を確保しました。この予算額で各地域において必要な事業を計画どおりに実施可能かどうか、現場の実情をしっかりと精査していく必要があると考えています。

さて、今年の農政における大きな課題は、食料・農業・農村基本法の改正です。政府が昨年6月に決定した「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の具体的な施策の内容について、自民党では昨年9月から「農業基本政策」、「農地政策」、「食料産業政策」の3つの検討分科会を設置し、私も参画して少数のメンバーで議論を重ねました。昨年末には、検討結果を取りまとめ岸田総理へ提言を行うとともに、「食料安全保障強化政策大綱」の改定に当たって提言内容が反映されました。この大綱が本年の通常国会に提出される食料・農業・農村基本法改正案や関連法案、予算制度につながってまいります。

提言は、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における生産水準の維持・発展、地域コミュニティの維持」の観点から構成されており、生産基盤の維持につながる農地の確保、農業生産基盤整備と保全の推進、人材の育成と確保等、今後進めるべき主要施策を具体的に提言しています。

私は、従来から我が国の食料供給力（食料自給力）の強化に当たっては、①農地・農業用水等の農業資源の機能の維持・向上を図る土地改良対策、②農業者を確保・育成する担い手対策、③農業技術の向上を図る試験・研究、普及・生産対策を別々でなくパッケージで早急に実施することが必要と訴えています。

「食料自給力」の最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、農業者の激減が見込まれる中で農地と水の持っている機能を維持・増進する土地改良はこれまでも増して重要となります。私は、本年も土地改良予算の安定的な確保に努め、法律の整備や制度の拡充等土地改良事業の環境整備を行い、農業農村の振興に向けて更に邁進してまいります。皆様からのご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、また、貴連合会のご発展とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶といたします。



# 2024年 年頭あいさつ



## 新年あいさつ

全国土地改良事業団体連合会会長会議  
顧問 宮崎 雅夫

元日の夕刻に発生した「令和6年能登半島地震」により、尊い命を失われた方々に哀悼の誠を捧げさせていただきます。さらに、被害に遭われ、不自由な避難生活を余儀なくされている皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、速やかな生活環境の確保・回復と、今後進められる農地・農業用施設を含む被害状況の把握や早期復旧に向けまして、私も関係機関等と連携しながらしっかりと対応してまいります。

また、本件地震のほかにも、昨今の激甚化、頻発化する気象災害は、昨年も全国各地で風水害や土砂災害等を発生させ、さらに、夏場の高温や渇水など農業用水の安定供給にも影響を及ぼしています。被災された全ての方々には心よりお見舞い申し上げ、早期復興に皆様とともに力を合わせて対応してまいります。

さて、辰年を迎え、佐賀県土地改良事業団体連合会ならびに会員各機関、関係の皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進や土地改良施設の適切な管理にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、私、宮崎雅夫の国政活動に多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

私も皆様方から多くのご支援をいただきつつ、現場でお聞きした皆様の声を国政の場で発信し、また、多くのご要望等に対しましても、それぞれの地域事情に即した解決策等に向け、全力で対応してまいりました。昨年11月に成立した令和5年度補正予算では、土地改良関係として、昨年度の補正予算から100億円増の1,777億円（食料安全保障強化対策160億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災・国土強靱化対策857億円）を確保できました。この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料高騰分の7割を支援する制度を4月まで延長する対策も含まれています。加えて、12月に閣議決定した令和6年度当初予算案では、前年を上回る4,463億円が計上され、補正予算と合わせた総額は6,240億円となっております。これから行われる通常国会において、参院予算委の理事として、早期成立に向け努力してまいります。

さらに、来る通常国会では、「農政の憲法」とも言われる「食料・農業・農村基本法」の四半世紀ぶりの改正にむけた議論を予定しており、我が国の食料安全保障のあり方や環境に配慮した農業・食品産業の推進、人口減少社会での食料供給基盤の強化等についてしっかり議論を深め、基本法に位置付けていく必要があります。さらに土地改良が担う重要な役割としての農地や水利施設等の整備・保全管理を含め、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業等の取組推進や農業農村関係人口の拡大など、土地改良区の運営基盤の強化を図っていくことが重要です。

私も、引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を基本理念に、現場や地域の課題をしっかりと伺いし、皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保や制度の充実に向け、鋭意努力してまいります。決意ですので、引き続きのご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、佐賀県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様の方々の益々のご発展とご健勝を心より祈念申しあげ新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。

# 「令和5年度 佐賀県農業農村整備事業推進大会」開催

12月26日(火)に佐賀市文化会館において「令和5年度 佐賀県農業農村整備事業推進大会」を落合佐賀県副知事、大場佐賀県議会議員、宮崎参議院議員及び県選出国會議員、農林水産省の青山農村振興局次長をはじめ多くの来賓の方々を迎え、県内土地改良区の役職員及び組合員、佐賀県農林水産部の職員、市町職員等の関係者約750名の参集のもと開催しました。



本大会は、国際情勢の混乱や地球規模の異常気象等により、食料安全保障の強化が求められる中で、農業農村整備事業の役割や重要性及び今後の進むべき方向を再確認し、必要な予算確保による事業の着実な推進に向け、県内の土地改良関係者が意識の共有を図ることを目的として開催しました。

当日は、江里口推進協議会長（小城市長）の主催者挨拶の後、来賓として御臨席いただいた落合佐賀県副知事、大場佐賀県議会議員、県選出国會議員及び農林水産省の青山農村振興局次長より祝辞をいただきました。

また、表彰伝達式では、全国土地改良事業功績者表彰及び子ども絵画展の表彰を行いました。

基調講演では、全国水土里ネット会長会議顧問の宮崎参議院議員による「これからの農政と土地改良」、佐賀県農林水産部の江口農山村課長による「さがの農業農村の未来に向けて」と題して講演をいただきました。

その後、さが水土里ネット女性の会の西田会長及び会員による大会宣言の朗読が行われ、佐賀県土地改良事業団体連合会の田島会長（白石町長）の閉会挨拶により大会を終了しました。



江里口推進協議会長による主催者挨拶



落合副知事の来賓祝辞



青山次長の来賓祝辞



全国土地改良事業功績者表彰受賞者  
合瀬前理事長(前列中央左側)  
中原前理事長(前列中央右側)



さが水土里ネット女性の会 西田会長  
及び会員による大会宣言



## 「第45回 全国土地改良大会福井大会」開催



挨拶する全土連義経副会長



全国土地改良事業功績者表彰受賞者  
中原前理事長（左）合瀬前理事長（右）

10月11日(水)、第45回全国土地改良大会（全国水土里ネット・水土里ネット福井主催、農林水産省・福井県等が後援）が福井県越前市のサンドーム福井で開催され、全国から関係者約4,000名が集集し、本県からは県・市町・土地改良区の総勢67名が参加しました。

主催者を代表し全国水土里ネット義経副会長の挨拶では、「永平寺を開山した道元禅師(どうげんぜんじ)は必要な分だけ使った水を元の川に戻し、その一滴でも下流で使う人の為になると、『杓底一残水(しゃくていいちざんすい)』の心を持たれていた。これは土地改良の神髄であり、古来より先人の間で受け継がれてきた精神。この大会を通じて、土地改良の大切さを全国の皆様と共有し、発信して行こう」と呼びかけられました。

また、「全国土地改良事業功績者表彰」では、本県から永年にわたり土地改良事業の推進や地域農業の振興に貢献された功績が認められ、『農村振興局長表彰』に合瀬健一氏（前三日月土地改良区理事長）、『全国土地改良事業団体連合会長表彰』に中原貞毅氏（前鹿島市土地改良区理事長）が受賞されました。

次回、第46回全国土地改良大会は、令和6年10月22日に千葉県で開催される予定です。

## 「令和5年度 土地改良区役職員研修会」開催



講演（高田専務理事）の様子



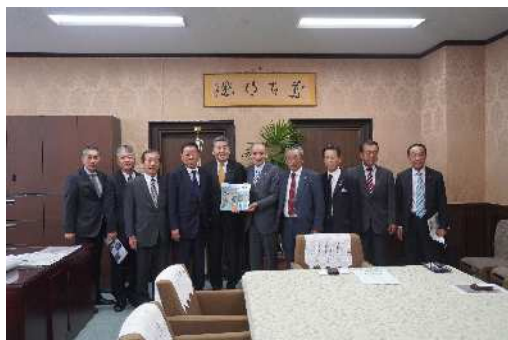
意見交換会の様子（杵藤）

佐賀県内の土地改良区役職員を対象に、下記のとおり研修会を開催し、延べ395名の方に出席いただきました。今年度はブロック別に開催し講演の他、佐賀県農地整備課及び各農林事務所にも参加いただき意見交換会を実施しました。

ブロック	開催日	開催場所	参加人数
杵藤（畑かん施設）	令和5年9月28日（木）	杵藤農林事務所会議室	33名
唐津	令和5年10月27日（金）	上場土地改良区会議室	61名
杵藤（ダム・圃場整備等）	令和5年11月10日（金）	ひぜん祐徳温泉 宝乃湯	78名
東部	令和5年11月14日（火）	土地改良会館5階会議室	49名
佐賀中部（佐賀市管内）	令和5年11月17日（金）	土地改良会館5階会議室	110名
伊万里	令和5年11月21日（火）	伊万里総合庁舎会議室	22名
佐賀中部（多久市・小城市管内）	令和5年11月24日（金）	土地改良会館5階会議室	42名



## 九州NN推進協議会・土地連九州協議会が要請活動を実施



神田憲次財務副大臣へ要望書を手交



舞立昇治農林水産大臣政務官へ説明

10月23日(月)、24日(火)、九州農業農村整備事業推進協議会と土地改良事業団体連合会九州協議会が合同で関係国会議員及び農林水産省、財務省、自民党本部へ要請活動を実施しました。本会の高田専務理事を含む九州各県代表者が出席し、九州・沖縄地域における農業農村整備事業の強力な推進について、神田憲次財務副大臣、舞立昇治農林水産大臣政務官、長井俊彦農村振興局長などに面談し要望書を手交しました。

## 佐賀県NN推進協議会が要請活動を実施



緒方和之農水省整備部長へ説明



漆畑有浩財務省主計官へ要望書を手交

11月1日(水)、佐賀県農業農村整備事業推進協議会(田島健一副会長)が関係国会議員、農林水産省、財務省へ佐賀県の農業農村の現状を説明し、地域の要望に十分応えられる令和6年度予算の確保や、農村地域の防災減災対策及び食料・農業・農村基本法の見直しに関する制度や事業への支援などについて要請活動を実施しました。

## 「農業農村整備の集い」開催

11月7日(火)、東京都千代田区のシェーンバッハ・サボーにおいて、全国水土里ネット(二階俊博会長)主催による「農業農村整備の集い」が開催されました。農業農村整備事業の推進と令和6年度当初予算の獲得等に向け、全国から農業農村整備関係者約1100名が集い、宮下一郎農林水産大臣、全国水土里ネット会長会議顧問である進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員をはじめ多数の国会議員や農林水産省幹部の方々が出席されました。



全土連二階会長挨拶

主催者である二階会長より、「農家の方々に期待を持って働いていただける環境を作るため、我々は十分な土地改良予算の確保に向けて、一致団結して進んでいかなければならない。本日は100名を超える女性にご参加頂いている。土地改良の男女共同参画は、まだスタートに着いたところであるが、土地改良団体の評価のために必要不可欠な課題であり、しっかりと取り組んでいかななくてはならない。」と力強い挨拶を述べられました。

最後に、根本由紀子全国水土里ネット女性の会会長らによる力強い「ガンバロウ三唱」の発声と盛大な拍手をもって盛会のうちに終了しました。

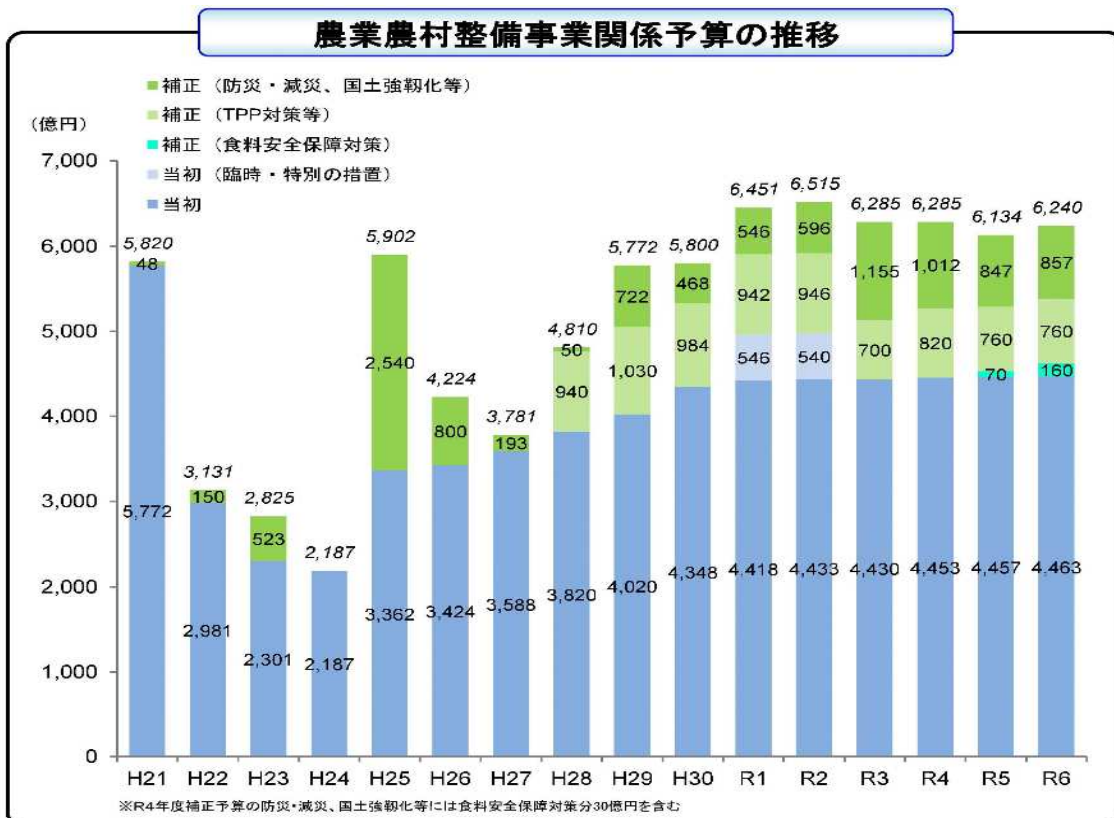


# ○農業農村整備事業関係予算概算決定

農業農村整備事業関係の令和6年度当初予算4,463億円（対前年度比100.1%）が示されました。  
 また、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策、TPP対策及び食料安全保障対策として、  
 令和5年度補正予算1,777億円が計上され、これらの総額は6,240億円となりました。（農林水産省資料より引用）

令和6年度予算等				
（単位：億円）				
	令和5年度 当初予算	令和6年度 当初予算 A	令和5年度 補正予算 B	合計 A+B
農業農村整備事業（公共）	3,323	3,326 (100.1%)	1,777	5,103
農業農村整備関連事業（非公共） 〔農地耕作条件改善事業、畑作等促進整備事業、 農業水路等長寿命化・防災減災事業、 農山漁村振興交付金〕	543	548 (100.9%)	—	548
農山漁村地域整備交付金（公共） （農業農村整備分）	591	588 (99.6%)	—	588
計	4,457	4,463 (100.1%)	1,777	6,240

注：計数は四捨五入によっているため、端数において合計とは一致しないものがある。





# どかいれんの話

## 令和5年度さが水土里ネット女性の会研修会を開催

9月13日(水)に、佐賀市(グランデはがくれ)において「令和5年度さが水土里ネット女性の会研修会」が開催され、女性の会会員32名のうち27名が参加しました。

西田祐子会長の挨拶の後、くまもと水土里ネット女性の会 田尻千恵会長から「活動事例」、水土里ネット熊本 西彩課長から「設立の経緯」について講演をいただき、今後の活動の参考になる貴重な話を伺うことができました。



【研修会の様子】



【講演の様子】  
田尻千恵会長(写真右)  
西彩課長(写真左)



【質疑応答の様子】

## 令和5年度水土里ネット男女共同参画推進大会 in kazunoに参加

9月27日(水)、28日(木)、秋田県鹿角市で「令和5年度水土里ネット男女共同参画推進大会」が開催されました。

この大会は、各都道府県の水土里ネット女性の会会員及び関係者238名が一堂に会し、男女共同参画の意義をより一層深めるとともに、先進的取組事例等を学び、個々のスキルアップを図りながら、それぞれの地域において男女共同参画を推進し、新時代にふさわしい土地改良区の創造を図ることを目的として初めて開催されました。

1日目は全国水土里ネット女性の会 根本由紀子会長の主催者挨拶に続き、農林水産省農村振興局 佐藤一絵農村政策部長による基調講演やパネルディスカッション、最後に大会決議が朗読されました。

2日目は女性農業従事者によるトーク講演の後、参加者が3班に分かれて現地研修が行われました。



【主催者挨拶】  
全国水土里ネット女性の会  
根本由紀子会長

## 令和5年度土地改良区体制強化事業 技術実践向上研修会を開催

九州各県の市町担当者、土地改良区の役職員及び土地改良事業団体連合会の職員を対象に、令和5年度土地改良区体制強化事業 技術実践向上研修会を佐賀市(グランデはがくれ)で開催し、95名が参加しました。

本研修会は、九州各県の土地改良区の役職員等を対象に、農業農村整備事業に関する基礎的、専門的知識の習得を図ることにより技術力の向上に資することを目的とし、下記の研修を行いました。

日時 令和5年11月29日(水) 13:00~17:15  
11月30日(木) 8:30~12:00

- 演題 (1) 農業農村整備を巡る最近の情勢について  
九州農政局農村振興部設計課  
事業調整室長 北尾 陽典
- (2) 公共工事における品質確保について  
九州農政局農村振興部設計課  
技術審査官 塚脇 光裕
- (3) 佐賀県における農業水利施設の維持管理について  
佐賀県農林水産部農地整備課  
水利施設担当係長 大古場 真二
- (4) 農業水利施設の維持管理について  
開成工業(株) 営業本部積算室長 松浦 繁揮
- (5) 現地研修 川上頭首工(佐賀土地改良区)



【研修会の様子】



## 令和5年度 農村工学中堅技術研修に参加しました！

9月11日(月)から22日(金)までの2週間、農村工学中堅技術研修に参加しました。本研修は農業農村整備に関する技術・知識を付与し、職員の資質の向上を図ることを目的として、国・都道府県及び、都道府県水土里ネット職員を対象に行われています。

今年度はコロナが5類に移行され、1週目をオンライン、2週目は集合という複合形式で行われ、20代から40代の年代・立場が異なる職員と一緒に受講しました。

今回は内容が多岐にわたるため、2項目に絞って書きたいと思います。

まず1つ目はため池についてです。

平成29年の九州北部豪雨の事例をもとにため池の豪雨被害実態に関して検証されました。決壊ため池と被災ため池には現在のため池設計指針を超える洪水流入があったと推測され、整備済ため池では大規模な洗掘等が発生したものの、基本的な機能は維持していました。このことから整備をすることで流入した洪水や土砂等を受け止め、下流域に対して減災効果を発揮していることが分かり、整備の必要性を実感できました。

2つ目は、現地研修の印旛沼における国営事業です。

印旛沼では水質悪化が問題となっており、農地から負荷排出を軽減するために循環かんがい（排水の反復利用）が導入されています。地形的に印旛沼が農地より約1.5m高いため、従来は取水、排水ともにポンプ稼働が必要でしたが、現在は循環かんがいを導入された結果、排水ポンプ運転の経費節減及び、沼への排出量削減となっており沼の水質保全に資しているとのことでした。

2項目に絞って書きましたが、幅広い技術・知識を得ることができる有意義な研修内容となっていました。会員の皆様への情報提供となると幸いです。

事業部 農村整備1課  
係長 石橋 佳代子



【オンライン講義】



【印旛沼二期地区受益】



【整備された機場】

## 土地改良区体制強化事業 施設管理研修（後期）

10月16日(月)から10月20日(金)までの5日間、埼玉県で開催され、土地改良施設の診断・管理指導を担当する地方連合会職員並びに施設管理に携わる市町村及び土地改良区職員を対象に行われた研修に参加いたしました。本研修では、主に農業水利施設の機能診断（調査・評価）について座学が行われ、各施設の診断をするにあたり、留意するポイントなどわかりやすく説明がありました。

4日目には座学で学んだことを基に現地研修が計画されており、開水路やゲートの診断演習を行いました。開水路の診断では実際にシュミットハンマーを使用してコンクリートの圧縮強度の確認を行える機会もいただきました。ゲートの診断の際も、埼玉県土連の職員の方々が診断内容やポイントなどわかりやすく説明していただきました。

診断以外にも揚水機場の保守点検実習として、分解整備中のポンプを見学し、劣化状況など目で見て分かるようになっていました。また、一級河川荒川を堰止めて取水する役割を持つ六堰頭首工については、維持管理方法についての説明がなされました。

研修以外に意見交換会も用意しており、全国各県の現状や取組等の情報交換を行うことで自身の知見を広げることできます。本研修は施設管理に携わる若手職員にはオススメの研修となりますので、会員の皆様も参加していただき、業務に活かしていただけたらと思います。

事業部 施設管理課  
技師 辻田 達也



【開水路の診断状況】



【揚水機場の見学】



【六堰頭首工】



## 大学生のインターンシップ開催

11月22日(水)、24日(金)の2日間に渡り、佐賀大学農学部3年生を対象にインターンシップを実施しました。天候にも恵まれ、初日はレベルを使用したため池堤体の縦横断測量、2日目は測量データを元にCADを使用して横断面図作成を行いました。

佐賀大学の生徒達も、日頃から測量機器やCADに触れてはいるものの、実際の現場での作業に多少の戸惑いは見られましたが、終始楽しみながら当会の業務に触れていたようでした。また、当会の若手職員がインターンシップの企画から実施までを行い、学生に仕事内容を説明する難しさと、改めてこの農業土木という仕事のやりがいを再認識する良い機会となりました。これを機に、少しでも農業土木に関心を持ってくれる学生が増えることを願っています。

事業部 農村整備1課  
技師補 横町 新奈



外業(ため池堤体測量)の様子



内業(CAD)の様子



## 『佐賀県農地・水多面的機能推進協議会』だより

### 令和5年度多面的機能支払交付金に関わる研修会を開催

多面的機能支払交付金による活動に取り組まれている活動組織を対象に、下記のとおり研修会を開催しました。

- 日時 令和5年11月15日(水) 14:00~16:00  
場所 小城市生涯学習センター「ドゥイング三日月」(多目的ホール)  
演題 (1) 多面的機能支払交付金の概要  
佐賀県農地・水多面的機能推進協議会  
(2) 機械の安全使用に関する研修「～草刈機の安全使用について～」  
佐賀県農業協同組合 農業機械課  
(3) 機能診断・補修技術に関する研修「～防草シート施工事例～」  
株式会社白崎コーポレーション



【概要説明の様子】



【研修会参加者】

### 令和5年度九州「農地・水・環境保全」フォーラムin熊本に出席

各活動組織、関係者が明確な意識のもと、活発な活動を実施するための動機付けとするとともに、国民全般に対し情報を発信することで、農山村地域が有する多面的機能を周知することを目的として毎年開催されており、今年度は熊本県にて下記のとおり開催をされました。

- 日時 令和5年10月30日(月) 13:30~16:30  
場所 熊本城ホール メインホール  
基調講演 気候変動・流域治水・「田んぼダム」  
～〈みんな〉で取り組むこと  
京都大学名誉教授 渡邊 紹裕  
事例発表 熊本県 錦町農地・水・環境保全管理協定運営委員会  
福岡県 片島水と緑の里保全組合  
長崎県 森山地域保全団体運営委員会  
宮崎県 高鍋町広域協定運営委員会



【事例発表の様子】





# 「未来へつなごう！ふるさとの水土里子ども絵画展」 2023入賞作品決定！

未来を担う子供たちに絵画を通じて、ふるさとの素晴らしさを認識し、農業農村への興味・関心を高めてもらおうと、全国の小学生以下から募集された当絵画展（主催：全国水土里ネット）の入賞作品が決定しました。

今年度は全国から3,021点（佐賀県128点）と沢山の応募がありました。また、全応募作品の中から「入賞31点」「地域団体賞52点」「入選142点」が決定し、12月5日（火）から11日（月）の期間、東京都美術館で展示されました。

ふるさとに想いを馳せ描かれた子ども達の力強い作品の中から入賞作品をご紹介します。

## 【 地域団体賞 】



水土里ネットさが会長賞  
小森 和香  
(鹿島市立明倫小学校 3年)



佐賀県農業農村整備推進協議会長賞  
白浜 妃那子  
(多久市立東原庁舎中央校 3年)

## 【 入 選 】



高尾 心音  
(佐賀市立勸興小学校 3年)



田口 英虎  
(江北町立江北小学校 5年)



川副 叶愛  
(江北町立江北小学校 5年)



川崎 祐果  
(白石町立北明小学校 1年)



小森 尊真  
(鹿島市立明倫小学校 1年)



藤井 麗美  
(鹿島市立明倫小学校 2年)



針尾 空  
(鹿島市立古枝小学校 5年)



林田 陽咲  
(鹿島市立古枝小学校 5年)

## 【 佳 作 】



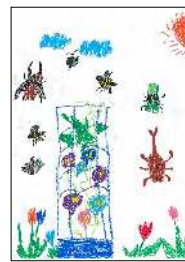
淵上 芹  
(江北町立江北小学校 1年)



赤嶺 心春  
(江北町立江北小学校 6年)



井上 葵衣  
(佐賀市立本庄小学校 1年)



今村 壮佑  
(鹿島市立古枝小学校 1年)



峯 有香  
(鹿島市立明倫小学校 1年)



中原 響士朗  
(鹿島市立古枝小学校 5年)



中村 夢花  
(鹿島市立古枝小学校 5年)

## 表彰の様子



地域団体賞受賞の2名については、佐賀県農業農村整備事業推進大会にて賞状と副賞が授与されました。



小森 和香さん(写真中央左側)  
白浜 妃那子さん(写真中央右側)



## 第5回 森川海人っフェスに参加しました！！



水土里ネットさが 農村整備2課  
技師補 藤武 かな



ジオラマを使って田んぼダムの仕組みを説明する様子

11月19日(日)にSAGAアリーナ周辺で行われた「森川海人っフェス」にスタッフとして参加し、田んぼダムの機能を手作りのジオラマを使って説明しました。

当日は幅広い年代の方々がブースに足を運んでくださり、田んぼダムの仕組みに興味津々な姿を見て、説明していた私たちも喜ばしく思いました。

このフェスをきっかけに、田んぼダムを佐賀県内にもっと広めていけたらと思っています。

# お知らせ

### 土地改良施設賠償保険のご案内

施設種別	保険料
農道	60円/km
用排水路	60円/km
ダム・溜池・貯水槽	250円/箇所
パイプライン	600円/km

市町・土地改良区が使用または管理する土地改良施設の欠陥や管理ミスなどに起因する事故で、他人へ傷害を与えたり財物を損傷させた場合など、法律上の損害賠償責任を負う場合に対し保険金をお支払いするものです。

### 土地改良法律相談で問題解決の糸口を！

土地改良事業（土地改良法）に関する諸問題へ本会の顧問弁護士が、法律的な観点から問題解決へと努めています。相談費用は本会が負担しておりますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

～これまでの主な相談内容例～

- 賦課金滞納処分に関するご相談
- 過去の換地処分等に関するご相談
- 土地改良事業を円滑に遂行するためのご相談



### 非補助農業基盤整備資金をご活用ください

土地改良区等が国からの補助を受けないで実施する土地改良事業・生産基盤整備事業等に対して、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に土地改良区等に対し低利で融資する資金です。国の補助事業でない事業（県又は市町単独補助事業）についても融資の対象となります。

～融資用途の例～

- かんがい排水やほ場整備、客土等の事業を実施し農業基盤整備の整備・保全の推進を図る場合の費用
- 農業集落排水事業の実施において、国等の補助金以外の受益者が負担する部分（トイレ、浴室、洗面所の改修）
- 土地改良区等が行う土地改良施設の維持管理事業に対して、揚排水機場・用排水路・フェンス等の設置、土地改良区事務所の建設や事務機等の購入費用など



利率	融資時の利率は金融情勢により変動
償還期間	25年以内(うち措置期間10年以内)
貸付限度額	農家負担額(最低50万円)

## 連合会手帳

主な行事(令和6年1月～3月)

開催日	内容	開催地
1月12日	佐賀県土地改良事業団体連合会 理事会	佐賀市
1月30日	佐賀県土地改良事業団体連合会 総会議案地区説明会	伊万里市
2月1日	佐賀県土地改良事業団体連合会 総会議案地区説明会	佐賀市
2月14日	佐賀県土地改良事業団体連合会 第66回通常総会	佐賀市

広報『さかの土地改良』2024.1 Vol.197

発行 佐賀県土地改良事業団体連合会

編集 総務部 会員支援課 片淵

〒840-0811 佐賀県佐賀市大財3-8-15

☎ (0952)-24-6474(直通)

✉ kaiin@midorinet-saga.jp

印刷 株式会社 古川総合印刷





第47回 全国土地改良大会

# 佐賀大会

2025.10.15



**水土里ネットさが**

佐賀県土地改良事業団体連合会  
〒840-0811 佐賀市大財三丁目8番15号  
TEL (0952)-24-6268(代表)  
FAX (0952)-24-6221